

地区スローガン：「ロータリーから千葉を元気に」
会長方針：「温かいクラブ・活気のあるクラブ・調和のとれたクラブ」

国際ロータリー第2790地区 第3グループ

千葉西ロータリークラブ

Rotary Club of Chiba-West

WEEKLY COMMUNICATION

創立 1976年1月20日 承認 1976年2月25日
会長 野口アキ子 幹事 飯高喜代志
例会場 千葉スカイウィンドウズ 東天紅 センシティタワー23階
TEL 043-238-5555
例会日 毎週火曜日 12:30~
事務局 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階
TEL 043-245-3202 FAX 043-245-7522
E-mail : chibawestrc@wrpc.co.jp
URL : http://www.chibawest-rc.net/



■ 会長挨拶 / 野口アキ子 会長

皆さん こんにちは 新型コロナウイルス感染拡大防止の緊急事態宣言は解除されました1週間になり、段階的に社会活動も開始されて参りましたが、完全に終息されたわけではなく日常生活の中では不安を抱きながら過ごしていることと思われま

そのような状況の中、温かいお話しをさせていただきます。皆さんは（魔法の毛糸プロジェクト）という活動をご存知ですか。2人のアメリカ人女性が運営する非営利団体による、このプロジェクトは2015年の秋に始動しました。

その活動とは癌の治療によって髪が抜けてしまった子供たちへの手編みの毛糸ウィッグを贈るとい

うものです。まだ軟らかく敏感な子供の肌にも優しい子供用のニット帽をベースに、一つ一つ手編みで心を込めて制作されています。ウィッグはそれぞれ、ディズニーのプリンセスキャラクターをイメージして作られています。「アナと雪の女王」のアナとエルサや「美女と野獣」「眠れる森の美女」など・・・ティアラやお花なども装飾された、色とりどりの美しさには「困難に直面する中でも希望を見据えて暮らす子供たちのように、強く笑顔で生きて欲しい」と言う想いが込められています。また男児向けの「パイレーツ・オブ・カリビアン」のジャック・スパロウやスパイダーマンなどのスーパーヒーロー物もあるそうです。

共同設立者の一人であるホリークリステンセンさんはアメリカで働く看護師でもあり、かつて癌科で働いた経験を生かしてこの活動を始めたそうです。

きっかけは癌で髪を失ってしまった友人の娘さんへのプレゼントだったそうですが、まだまだ日本ではほとんど認知されていない「魔法の毛糸プロジェクト」 テレビで紹介されたことがきっかけに今や世界的な注目を集めています。子供からお年寄りまで、幅広い年代の人がボランティアとして参加しており、100%寄付のもとウィッグの制作を続けているそうです。現在までに3,000人ボランティアによって4,000個近いディズニーキャラクターのウィッグを作成し、小児がんを患う29カ国の子供たちに届けられきたとの事です。制作時間は最も難しいもので2時間ほど、それほど大変な作業ではないのだそうですが、世界中からのリクエストに製作が全く追いついていないのが現状のようです。公式サイトではウィッグや飾りの作り手、カード制作などのボランティアを募集しています。もちろん資金的な援助をすることもできます「魔法の毛糸プロジェクト」で検索すれば、プリンセスとなった素敵な子供達の笑顔を見ることが出来ます。この素晴らしい活動を支援し共に幸せを運びたいと願う皆様は

「百聞は一見にしかず」ぜひ一度見て下さい。



■ ガバナー補佐挨拶 / 第3グループガバナー補佐 鷗沢和広 様

第3グループ千葉西ロータリークラブの皆様へ

2019-2020 年度の最後にあたり皆様の一年間の御協力とご理解に対して感謝の気持ちを込めて御礼の挨拶を述べさせていただきます。

諸岡ガバナーのスローガン「ロータリーから千葉を元気に」をいかに実践するか情報研修会やIM でいかに会員のモチベーションを上げていくかを思考錯誤しながら第3グループのガバナー補佐としてのスタートを切らせて頂きましたが結果は波乱万丈の一年となりました。滑り出しは順調で、第3グループが中心となって参加する千葉市の親子三代夏祭りの神輿巡行、そして情報研修会と順調にこなす事が出来ましたが、しかしその後は千葉県に大きな災害をもたらした二つの台風でガバナー公式訪問に影響が出たり、新型コロナウイルスが広まる中、何とか IM を開催出来ましたが、その後は各クラブの例会等が中止となりガバナー補佐としての役割を全う出来ずに年度の終わりを迎える事となりました。オリンピックの延期も決まりロータリーの国際大会も中止になり世界全体が自粛を迫られる中ですが、7月からは藤澤ガバナー補佐のスタートが上手くいくようにお手伝いする事が唯一私に残されたガバナー補佐としての使命となりました。各クラブの会長・幹事そして各委員長の方々にとっても予定していた事業が中止となって歯がゆい思いをされたと思いますが是非新年度では違う立場・役割の中で充分と力を発揮頂きまして充実したロータリー活動を楽しんで頂けたらと願っております。一年間有り難うございました。



■ 米山記念奨学委員会 一年を顧みて 委員長 花澤誠一郎

委員長 花澤誠一郎 副委員長 花嶋 実 委員 野口正夫 兼任委員 菊地民雄 前田善弘 伊東 茂

委員会の主な活動内容

1. ロータリー米山記念奨学会の理解促進に努めました。
2. ロータリー米山記念奨学会への寄付促進を計りました。
そのため普通寄附・特別寄附合計額15,000円を一人当たりの目標額としました。
3. 毎月第3例会前に寄付の受付を実施しました。
4. 米山記念奨学生（ラミイラ・メイメイトジャンさん）とカウンセラーのサポートを行いました。

活動方針

米山奨学会は、日本で学ぶ外国人留学生の支援交流を通じて信頼関係を築き、世界の平和を願う心を育てるため、日本全国ロータリアンからの寄付金を財源として、奨学金を支給する民間最大の団体である。

世界をつなぐ、羽ばたく人材を育て、日本と世界を結ぶ懸け橋となりロータリー運動の良き理解者となる人材を育てることを方針としました。

活動計画

1. 会員の事業への理解を促すため米山月間〈10月〉を中心に関係プログラムを企画しました。
2. 集まった奨学生の活躍を収集して広報しました。
3. パーベキュー大会に参加し、奨学生・学友との交流を実施しました。

■ ロータリー財団委員会 一年を顧みて 委員長 花光和久

委員長 花光和久 副委員長 荘司芳樹 委員 黒川厚雄 兼任委員 花嶋 実 遠藤 平 大野 恵

● 活動方針は、ロータリー財団への寄付が、多くの奉仕活動の活動をする為の資金の一部になることから、寄付への理解と、寄付活動と、ロータリー財団補助金についての研修を通じ理解し実践する。

● 活動計画は3つ掲げました

1. 年次基金、恒久基金、ポリオプラスの寄付目標一人（150\$・30\$）の達成に努力する。
2. 地区補助金、グローバル補助金の活用を図る。
3. ロータリー財団の意義を研修等により深める。

● 活動報告

1. 寄付活動は、例年通り原則第3例会に会場入り口で受付をしましたが、新型コロナウイルスの影響で、2月以降が休会となり通算7回の実施でした。
2. 地区補助金活用については、大森年度に立案をし、翌年度に補助金申請し承認を得て、今年度にふれあい花壇補助金事業を実施し報告書を提出し完結しました。補助金活用の一連の流れを経験しました。
次年度以降も活用を諮ってください。
3. R財団研修を11月にクラブフォーラムを通じて新人会員向けに寄付の意義・補助金活用について行いました。会員皆様のご協力に感謝いたします。一年間ありがとうございました。

■ 青少年奉仕委員会 一年を顧みて 委員長 前野拓郎

委員長 前野拓郎 副委員長 海寶勘一 兼任委員 木村龍次 須藤郁雄 依田和孝 本橋和也

今年度の青少年奉仕委員会は海寶副委員長からのアドバイスを頂きながら、6名で委員会を運営させていただきました。

ロータリー年度とずれますが、2019年4月～2020年3月の間は千葉県立千葉商業高校がインターアクト年次代表校という事で新年度早々、8月6日にインターアクト年次大会を千葉商業高校主催・東天紅に240名参加で開催されました。当クラブはホストクラブとして終日千葉さんと一緒に会場運営させていただき、当日は米山奨学生・ローターアクターの皆様のプログラム協力もありとても盛り上がりました。

クラブとしては親睦活動委員会を始めとし、千葉西会員の皆様にご協力を頂きとても感謝です。11月にはインターアクト海外研修に千葉県内インターアクターと共に参加をして台湾の方々と交流させていただき良い経験をしました。後半はコロナ感染拡大により中止の事業も多く戻す様子になってしまいましたが、とても充実した委員会活動でした。ありがとうございました。

■ 国際奉仕委員会 一年を顧みて 委員長 川城孝夫

委員長 川城孝夫 副委員長 新井英次 山本康昭 遠藤 平
兼任委員 川島義美 今野文明 前野拓郎 木村龍次 白井貴博 須藤郁雄
真野匡章 遠藤あけみ 北村悠介 荘司芳樹 菊地民雄 長坂圭将

国際奉仕委員会は、総勢16名です。8月1日台湾高雄北区RCの子弟交流受入から始まりました。成田空港到着後、子弟はホームステイ先に向かい、引率のパッカーPPは三井ガーデンホテルにチェックイン。歓迎会はピアO1で行いました。翌2日は終日東京ディズニーランド。大森家、白井家の御令嬢様、森川雄太君達との意気投合はあっという間でした。日傘も大活躍の一日でした。8月3日は千葉駅から快速で東京駅へ。はとバス半日観光「スカイツリーと下町散策」に乗車。夕方千葉に戻り、納涼家族例会に出席しました。最終日の4日はホームステイ先からそれぞれ成田山門前に集合。参拝の後、菊屋さんでうなぎをいただき、その後イオンモールで買い物をして成田空港へ。子弟とホストファミリーは別れを惜しみ、再会を誓い見送りました。

12月10日にはクラブフォーラムを開催。3月に高雄北区ロータリークラブのダイヤモンドPPガバナー就任祝賀会訪問のアンケートを実施。この日に20名の参加予定の声をいただきました。1月28日には、三ヶ国書画交流の作品を観覧するために、例会終了後、登戸小学校を訪問。今年の作品もそれぞれの特徴がよく出た見事な作品ばかりでした。

3月26日から3泊4日の予定で企画されていた、ダイヤモンドPPのガバナー就任祝賀訪問の旅と、3月31日からの子弟交流（送り出し）は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、2月9日地区大会開催のアバホテルで、当クラブの理事会に諮り、止む無く中止を決断するに至りました。このため日本での展示が終了した書画は、予定を変更して韓国釜山鎮に送付しました。後半の予定がすべてキャンセルとなり、残念至極です。結びに会員の皆様のご協力は勿論のこと、奥様をはじめご家族皆さまのご協力に、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

■ 社会奉仕委員会 一年を顧みて 委員長 友田直人

委員長 友田直人 副委員長 佐藤 貢 依田和孝 委員 阿部紘一 吉野秀和 平塚五郎治 小林一生
兼任委員 宮川忠士 花光和久 花澤誠一郎

本年度、社会奉仕委員会委員長を務めさせていただきました友田直人です。

本年度の活動方針として、会長方針に基づき社会奉仕委員会は、どのようにすれば地域社会に貢献出来るのかを会員全体で考え、既存の活動を継続すると共に新たな奉仕活動を模索し、会長、幹事役員を始めとし全ての会員が真剣に向き合うことの出来るような活動を行うことでした。

活動内容として、1、環境保全JR稲毛駅前のふれあい花壇の継続及びそれに伴う施設の充実、地域の方々に更に喜んでいただけるようにしました。

①11月9日（土）8:30～12名参加（千葉商業高校インターアクターは学校行事と重複不参加）180株
同日JR稲毛駅前にてロータリークラブ・ポリオ撲滅活動チラシを配布
なお、この事業はロータリー財団の補助を受け実施

②5月22、23日（土）6月7日（日）8:30～180株
新型コロナ感染予防の為少人数で実施、また千葉商業高校インターアクターには新型コロナ感染予防の為通知せず
また、この活動のため、いつも車両、資材を快く提供して頂いています佐藤貢会員に改めて感謝申し上げます。
2、障がい者福祉施設ディアフレンズ美浜への支援活動。3、いのちの電話への支援活動。（30周年記念事業）
3、公益信託事業の委員会への出席。4、その他新規奉仕活動の積極的な取り組みは出来ませんでした。

社会奉仕委員会担当クラブフォーラムを1月28日実施させていただきました

その際のアンケートの概要を報告します。回答総数28名

①ディアフレンズ美浜支援について

・知っている 21名 ・知らない6名 ・無回答1名
意見：施設イベント等に参加し理解交流・特定の施設に偏らない支援
千葉市社会福祉協議会への支援

②千葉いのちの電話支援について

・知っている 26名 ・知らない2名
意見：活動内容、相談事例などを卓話して欲しい・ボランティアとして素晴らしい貢献・継続的支援・コンサートの空席が多い広報チケット販売に工夫

③ふれあい花壇維持整備について

・知っている 26名 ・知らない2名
意見：有意義な活動継続・参加者に偏り・定期的な除草クレーンあり
・開始時間5～6時がよい

④クラブ記念碑・記念樹の維持管理について

・知っている 17名 ・知らない10名 ・無回答1名
意見：近年入会会員はほとんど知らない現地を見て今後の維持管理のあり方について検討・そのままが良い
貴重なご意見をありがとうございました。

本年度一年間、十分な活動には至りませんでした。会員一同のご協力に対し深く感謝申し上げます。

☺ ニコニコBOX

・荘司会員…嫁が入院しましたが、無事に退院することができました。

本日の出席	総数	対象者	出席	欠席	出席率	ニコニコBOX	合計	次週のプログラム
	名	名	名	名	%		10,000円	
前々回修正	メーキャップ			欠席	出席率		累計	
			名	名	%		1,041,000円	